

倫理 研究課題 <青年期02>

教科書：p ～ 資料集：p ～ ノートp ～

●青年期を表現する言葉にはいろいろある。それぞれ意味を確認！

①第二の誕生（ルソー）：青年が成長して、性別をもつ人間として生きはじめること。

※「人格的交わり」：お互いに相手を人間として尊重しあい共に成長することをめざすような人間関係。契約など限られた面だけで接触している表面的な人間関係や、暴力・権力・財力を使って強者が弱者を支配しているような人間関係ではない。

②第二次性徴：青年期に特徴的な身体的変化。男子の精通や女子の初潮など。

③心理的離乳（ホリングワース）、第二反抗期：親から自立しようとする欲求が高まること。

④マージナル・マン（境界人 or 周辺人）（レヴィン）：子供と大人の境界領域にあること。

●青年期の心理的变化の3段階

①不安。確たる根拠のない優越感・劣等感・孤独感や、焦燥感・不満・怒り。

ゲーテらが「疾風怒濤」と表現しているように、心が落ち着かず荒れ狂っている状態。

②自我の目覚め。自分自身が、外界や他人とは区別される「かけがえのない存在」として生きている意識が明確になり、自分の生き方を真剣に模索するようになること。

（例）パスカル：「無限の時空の中に一個の点として自分が生きているのを発見する」

③他者の発見。周囲の他人も自分と同じように「かけがえのない存在」であることを強く意識するようになること。自分と共通点のある仲間として他人を意識しはじめること。

※G.H.ミード：自我は社会的経験などの過程でコミュニケーションを通じて形成される。

「一般化された他者の期待を身につける」＝家族や友人など特定の具体的な他者からの期待だけでなく、どこの誰からの期待にも応じられるような社会性（責任感や職業能力など）を身につけるということ。

※クーリー：「鏡映的自己」＝他人の目に映った自分の姿を通して形成された自己像

※ピアジェ：子どもの発達の大要＝脱中心化。物事を客観視、理論的思考が可能になる。

★「自我に目覚める」ことと「自己中心的」ということは、どう違うのだろうか？

.....

.....

.....